

Feel & Fields with Pekorasu

CONCERTO DI ARMONIA

音和・平和・調和

2024年8月4日(日)

13:30 開場 14:00 開演 16:00 終演予定

長崎原爆資料館ホール

長崎市平野町7番8号 TEL 095-844-1231

入場料：一般 1,000円 高校生以下 700円
チケットぴあ ・Pコード：274582
・興行コード：2423933



原さとみ
ソプラノ



果里 -karin-
シンガーソングライター



岡野雄一
ペコロス/漫画家&自称・長崎弁歌手



佐々木優依
ピアニスト

主催：NPO 法人アジェンダ NOVA ながさき・長崎県被爆者手帳友の会・長崎親善人形の会（瓊子の会）

後援：長崎県・長崎市 問い合わせ：林田慎一郎 (tel:090-7923-7435)

●●●●●●●● program ●●●●●●●●

♪岡野雄一 /★キヨシローの死んで ★ホームスイートホーム ★どんげんでんなる ほか

♪果里 /★長崎 ★重たい銃 ★日常という奇蹟 ほか

♪原さとみ /★落葉松(小林秀雄) ★死んだ男が残したものは(武満徹)
★オペラ「トスカ」より歌に生き愛に生き(プッチーニ) ほか

♪佐々木優依 /★小さな空(武満徹)

●●●●●●●● profile ●●●●●●●●

◎岡野雄一 ペコロス/漫画家&自称・長崎弁歌手

1950年長崎市生まれ。20歳で上京、出版社に勤務し漫画雑誌編集。40歳で長崎に戻る。長崎ではタウン誌の編集長などを経て、フリーライターに。認知症を発症した母の事を描いた漫画をまとめた自費出版本が facebook や口コミで話題が広がり。単行本『ペコロスの母に会いに行く』(西日本新聞社)出版。第42回日本漫画家協会賞優秀賞を受賞。この漫画を原作とした映画『ペコロスの母に会いに行く』は、第87回キネマ旬報ベスト・テン一位受賞。2014年母光江死去。91歳。老衰。現在、西日本新聞他に連載中。長崎在住。

●この国は妙な方向に向かってるように感じます。被爆地として、平和への思いは発進し続けなければならないと思います。

◎果里 シンガーソングライター(Vo+Gt.)

1990年より音楽活動開始。関東方面でのソロライブ、作詞、仮歌、コーラス活動後、2006年より拠点を長崎へ移す。「原果里」から「果里」へ。1999年開局長崎国際テレビ「ひるじげどん」のエンディングテーマ曲として「温かい一日」が放送される。1999年から2016年までに10枚のアルバムを発表。2007年 さねよしいさ子とのツインボーカル曲、DAIPRO-X 発売も含む)2020年 album「アリカ」「ユウトソラ」「ヨロコビノタネ」、single「重たい銃」「ぼくだんはいらない - no more bombs -」「日常という奇蹟」「明日の月」「心な瞳」「アラマホシキ」のリマスタリングとしてダウンロード、ストリーミング配信がスタート。2023年「そのまま」「できることからでいいさ」リマスタリングとしてダウンロード、ストリーミング配信がスタート。YouTubeにて mv 配信中「重たい銃」「ぼくだんはいらない - no more bombs -」「あなたへ - The Water Is Wide -」「端島~軍艦島に捧ぐ~」「日常という奇蹟」「長崎」「ヨロコビの種」「時 -トキ-」「カイオエン ~ 笑顔で ~」等。

●目の前に「道があること、街があること」当たり前に見える事が、すごく幸せな事だということ、そして沢山の尊い命が、いらぬ争いで失われた事の事実を自分も忘れないようにと歌い続けます。

◎原さとみ ソプラノ

福岡教育大学音楽科・長崎大学大学院教育学研究科卒業。第26回長崎県新人発表演奏会(グランプリ)、西日本新人音楽コンクール(審査員奨励賞)、第37回北九州芸術祭では声楽部門賞を受賞。これまでに「カヴァレリア・ルスティカーナ」「魔笛」「蝶々夫人」「ラ・ボエーム」「修道女アンジェリカ」「愛の妙薬」世界初演長崎創作オペラ「いのち」など、オペラ全幕公演、またトスカ、夕鶴、椿姫等ハイライト公演に出演。2017年長崎・出島表門橋完成記念式典(秋篠宮御夫妻、オランダ王室御臨席)にて国歌(君が代)を独唱する。2019年<日本とマカオ 450年交流事業>では、JW マリオット・ホテル・マカオで、マカオ政府観光局のマリア・エレナ・デ・セナ・フェルナンデス局長をはじめ市民の前で演奏する。また、澳門大学合唱部とのジョイントコンサートに出演し、国際交流を果たした。また、<東京 2020 オリンピック TokyoTokyoFESTIVAL>東京都稲城市民オペラ「愛の妙薬」で、アディーナを演じ合唱団とともに地域間の交流を深めた。「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」公演、国宝大浦天主堂他県内外数多くの教会や寺院、ユネスコ世界文化遺産施設にて公演を企画、出演。2024.3月に『紫陽花の小径』~長崎のうた~小松真理作品 CDリリース。長崎居留地男声合唱団・長崎居留地女声合唱団オルテンシア指揮者。

●『音楽には人と人をつなぎ、共感を生み出す力があります』これからも色々なジャンルで活動をなさっている方、平和への想いを大切に過ごしていらっしゃる人々とともに、自分自身も歌っていきたくと思います。世界中のすべての人が音楽とともに安寧に過ごすことができますように祈ります。

◎佐々木優依 ピアノ

長崎市出身。活水高等学校音楽コースを経て、活水女子大学音楽学部演奏学科ピアノコース卒業、長崎大学大学院教育学研究科(音楽専修)修了。ピアノを山浦直子、堀内伊吹、両氏に師事。第82回読売新聞社主催新人演奏会、第41回長崎県新人演奏会、第6回九州新人演奏会等の演奏会に出演。また、多数のコンクール受賞歴を持つ。伴奏ピアニストとして定評があり、合唱、アンサンブルピアニストとして多くの経験を積む。病院コンサートやクリスマスコンサート、また2015~2018までは長崎市アウトリーチ事業に参加し、学校や地域施設への訪問演奏などを展開。2021~2023までマレーシア、クアラルンプールに在住。演奏会を開催し好評を得る。帰国後の現在は、長崎・佐賀を拠点に精力的に活動を続けている。

●言語や民族の壁を乗り越えて繋がり合えるのが音楽です。平和への想いを込めて一音一音紡いでいきたいです。